

第6回 2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会
議事概要

1 日時

令和2年12月4日（金）14：00～16：00

2 場所

三田共用会議所

3 出席委員

根本敏則委員（座長）、矢野裕児委員（座長代理）、池田和幸委員、井本隆之委員、小川博委員、小野塚征志委員、金子千久委員（代）、苦瀬博仁委員、小谷光司委員、坂元誠委員、佐藤清輝委員、佐藤修司委員、宿谷肇委員、高松伸幸委員、田中謙司委員、西成活裕委員、野澤知広委員、兵藤哲朗委員、藤野直明委員、二村真理子委員、堀尾仁委員、堀切智委員、牧浦真司委員、馬渡雅敏委員、山下太委員（代）

4 議事概要

【委員からの主な意見】

（1. ～3. について）

- 1～3 ページについて。物流が日本の成長をリードするという表現を、次期総合物流施策大綱策定の意義の部分で記載してほしい。
- 9 ページなどについて。「積載効率」と「積載率」という表現が混在しているので統一をすべき。

（提言①について）

- 14 ページ12 行目について。書面手続きゼロだけでなく情報の二重入力をなくすということも書いてほしい。
- 15 ページ28 行目～について。船舶や海上の通信環境の整備について触れてほしい。
- 金融・保険といったキーワードが抜けている。例えば、16 ページ18 行目～の中小企業における自動化・機械化を促すための方策として、ファイナンス面に言及してもよいのではないか。
- 17 ページ13 行目について。「標準化のメリットが適切に分配される物流」という表現は、受け手にとって都合のよい解釈がされる可能性があり、再考してほしい。
- 17 ページ28 行目について。物流標準化について、「例えば、商品コードなど」とあるが、必ずしも商品の中身は分からなくても良いので、「例えば、商品コードや事業所コード、EDI など」と物流に即した形に修正してほしい。
- 18 ページ11 行目について。「業種を対象としたデータ基盤」とすると誤解を招く。業種を対象として業種で終わるといように読めるため、例えば「相互接続可能な～」「新たなエコシステムを形成できるような～」とし、横の連携ができる基盤という書きぶりにしてほしい。
- 19 ページ9 行目～について。高度物流人材が担う役割について議論が必要である。

（提言②について）

- 20 ページ1 行目について。短いリードタイム等のこれまでの慣習は継続できるわけがないため、もう少し強い表現に改めるべき。

- 20 ページ 3 行目～について。「配送料当社負担」のような具体的な代替案が記載されているとよい。
- 20 ページ 3 行目～について。「配送料無料」という表現があたかも悪いように見えてしまう。小売業者も対価を払って実施しているため、表現を改めてほしい。
- 20 ページ 28 行目について。荷主側から見ると、「リードタイムの改善」はリードタイムの短縮を指すことになる。記述の意図を明確にすべき。
- 20 ページ 31 行目などについて。「荷主」という表現について、発荷主と着荷主の記載を使い分けてほしい。
- 21 ページ 33 行目～について。ダブル連結トラックに普及促進のためだけに駐車マスを整備するという記述は改めたほうがよい。
- 24 ページ 6 行目～について。ラストワンマイル配送の円滑化に当たって、路上荷さばきだけで対応することでよいのか。路上だけではなく地域や周辺の建物等とセットで対策を実施しなければならない。
- 24 ページ 12 行目～について。これまで商習慣が壁となって農林水産物・食品等の流通合理化が進んでこなかった面もあることから、「これまでの商習慣にとらわれず」という文言を入れてほしい。
- 25 ページ 8 行目～について。庫内業務での外国人労働者の活躍についても記載を検討してほしい。
- 25 ページ 10 行目～について。「トラックドライバー等に対する技能実習制度の適用等」という表現があるが、技能実習制度は様々な問題も抱えていると認識している。また、トラックドライバーという職種が技能実習制度にはそぐうのかは疑問である。
- 25 ページ 17 行目～について。広報していく内容として、エッセンシャルワーカーとして物流が重要であるという点も入れてほしい。

(提言③について)

- 28 ページ 10 行目～について。「物流を支えるインフラ」とは港湾や空港を指していると思われるが、今後は民間物流施設のリニューアルも大きな課題になる。
- 29 ページ 1 行目～について。輸送の安全性の確保について 2. に記載しているのはありがたいが、提言③において輸送の安全性の確保に関する記述がもう少しあってもよいのではないかと。
- 港湾の効率化について、貨物の分散に向けた複数港湾の経営一元化、ゲートオープン時間の拡大に向けた検討などの施策も提言に盛り込んで欲しい。

(4. について)

- KPI を設置する際は、主語を明確にしてほしい。
- 大綱を推進していくに当たって、個別業界の製造・流通・物流の連携は丁寧に行っていかなければならない。ただし、個別業界のみに特化すると全体の統一が図られないため、全体を進めていく組織体制もまた必要である。

【今後の進め方等】

- 次回検討会は 12 月 22 日（火）に開催予定。

以 上

(文責 事務局)